

服飾・家政専門課程 ファッションビジネス学科 カリキュラム編成表

科目の区分	必修・選択の別	授業科目	第1学年		第2学年		授業時数合計	単位数	実務経験のある 教員等による授業		
			週間授業時数	年間授業時数	週間授業時数	年間授業時数					
			前期	後期	前期	後期					
専門科目	必修	服飾造形理論（講義）	3	3	90	3	3	90	180	12	
		服飾造形(実習)	11	11	330	11	11	330	660	14	
		パターンメイキング（演習）				2	2	60	60	2	○
		アパレル商品知識（講義）	1	1	30				30	2	○
		ファッションマーケティング（実習）	2	2	60				60	1	○
		ファッション販売（講義）				1	1	30	30	2	○
		ファッションビジネス論（講義）	2	2	60	2	2	60	120	8	○
		ファッションデザイン画（実習）	2	2	60				60	1	○
		ファッション色彩（演習）	2	2	60	2	2	60	120	4	○
		ファッション情報分析（演習）				1	1	30	30	1	
		スタイリスト実践（演習）	1	1	30	1	1	30	60	2	○
		デザイン実習（演習）	2	2	60	2	2	60	120	4	○
		立体裁断(演習)				2	2	60	60	2	
		フォーマル（講義）	1	1	30				30	2	○
		ファッションショー実習（実習）	2	2	60	2	2	60	120	2	
一般科目	必修	ビジネスコミュニケーション(講義)				1	1	30	30	2	○
		コンピューターワーク（演習）	1	1	30				30	1	
必修科目授業数			900		900		1,800	62			
選択科目授業数			0		0		0	0			
卒業に必要な総授業数			900		900		1,800	62			
実務経験のある教員等による授業科目授業時数合計			390		330		720				

講義 15時間・・・1単位
 演習 30時間・・・1単位
 実技・実習 45時間・・・1単位

科目名	服飾造形理論	講義
------------	---------------	-----------

担当教員名	時間数	単位数	必修・選択	開講年次／回数
富山 定子	180時間	12	必修	1年 前期後期／50分×90回
				2年 前期後期／50分×90回

講義目的
実物制作に必要な基礎的な作図、裁断、縫製方法を習得させる。

講義方法
教科書を中心に講義形式で進める。

試験方法・成績評価方法
課題提出の点数を中心に、出席状況も含め評価する。

授業内容					
回数			2年次		
回	主題	内容	回	主題	内容
1～3	服飾造形概説	・衣服と服飾造形 ・衣服の分類 ・衣服制作のプロセス	1～3	服飾造形とアパレル生産について	
4～6	衣服製作のための人体と計測 パターンの製作の基礎	・衣服制作のための人体について	4～6	衣服のパターン製作	・平面作図と立体裁断
7～9	衣服素材と付属材料	・衣服素材とデザイン	7～12	オリジナルパンツ	・作図、裁断、縫製方法
10～12	基本原型について		13～18	オリジナルワンピース	
13～15	タイトスカートセミタイトスカート	基本製図、裁断、縫製方法	19～24	オリジナルジャケット	
16～18	ストレートパンツ		25～30	フォーマルウェア	
19～21	ワンピース				
22～24	シャツブラウス				
25～30	ジャケット				

※1回の授業を3時間とする。

テキスト
<ul style="list-style-type: none"> ・F大系・服飾①服飾造形の基礎 ・F大系・流通⑥CテクニクアパレルⅡ

参考書・その他
ファッション雑誌

科目名	服飾造形	実習
------------	-------------	-----------

担当教員名	時間数	単位数	必修・選択	開講年次
富山 定子	660時間	14	必修	1年 前期後期
				2年 前期後期

講義目的
実物制作・部分縫いを通してに必要な基礎的な縫製方法を習得させる。

講義方法
実物制作を中心に実習を行う。

試験方法・成績評価方法
課題提出の点数を中心に、出席状況も含め評価する。

授業内容					
回数			2年次		
主題	内容	時間	主題	内容	時間
基礎縫い	<ul style="list-style-type: none"> ・実物作図 ・裁断 ・仮縫い ・補正 ・縫製実習 	33	オリジナルパンツの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・実物作図 ・裁断 ・仮縫い ・補正 ・縫製実習 	55
タイトスカート作成		44	オリジナルワンピースの作成		55
ストレートパンツの作成		55	オリジナルジャケットの作成		88
ワンピースの作成		44	フォーマルウェアの作成		132
シャツブラウスの作成		44			330
ジャケットの作成		110			
		330			

テキスト
<ul style="list-style-type: none"> ・F大系・服飾①服飾造形の基礎 ・F大系・流通⑥CテクニックアパレルⅡ

参考書・その他
ファッション雑誌

科目名	パターンメイキング	演習
------------	------------------	-----------

担当教員名	時間数	単位数	必修・選択	開講年次／回数
安田 幸	60時間	2	必修	2年 前期後期／50分×60回
前職:縫製販売指導員				

講義目的
<ul style="list-style-type: none"> ・パターンメイキングの基礎知識と製図を理解する。 ・パターンメイキング技術検定3級受験対策

講義方法
テキストを中心に講義と演習形式で進める。又、検定受験対策として問題集や過去問などをする。

試験方法・成績評価方法
課題提出、問題集、過去問の点数を中心に、出席状況も含め評価する。

授業内容		
回	主題	内容
1～3	パターンメイキング	・パターンメイキング技術検定とは
4～6	既製服の概念	・既製服の基礎知識
7～9	ファーストパターンメイキング	・ファーストパターンメイキングとは
10～12	工業用パターンメイキング	・工業用パターンメイキングとは
13～15	グレーディング	・グレーディングとは
16～18	素材について	・素材の知識
19～21	フラットパターンの演習	
22～24	縮尺パターンの演習	
25～30	パターンメイキング技術検定3級 過去問題模擬試験	
※1回の授業を2時間とする。		

テキスト
パターメイキング技術検定3級ガイドブック(日本ファッション教育振興会)

参考書・その他

科目名	アパレル商品知識	講義
------------	-----------------	-----------

担当教員名	時間数	単位数	必修・選択	開講年次／回数
小林 利恵 現職：ファッションディレクター	30時間	2	必修	1年 前期後期／50分×30回

講義目的
流通全般に必要なアパレル商品の基礎知識を習得する。

講義方法
テキストを中心とする講義と、ファッションマップを作成する実習授業。

試験方法・成績評価方法
課題提出及び出欠状況も含め評価する。

授業内容		
回	主題	内容
1～3	アパレル商品の総論	・ファッションの歴史
4～6	アパレル商品と消費者	・アパレル商品の品質表示 ・アパレル商品のJISサイズ ・アパレル商品の素材と取扱い
7～9	アパレル商品の基礎知識	
10～12		・婦人服
13～15		・紳士服
16～17		・子供服
18～19		・ニットアウターウェア
20～21		・ジーンズウェア
22～23		・スポーツウェア
24～25		・ユニフォーム
26～27		・フォーマルウェア
28～29		・インナーウェア
30		アパレル商品のお直しについて

テキスト
F大系・流通⑤Cテクニクアパレル I

参考書・その他
ファッション雑誌

科目名	ファッションマーケティング	演習
------------	----------------------	-----------

担当教員名	時間数	単位数	必修・選択	開講年次／回数
小林 利恵 <small>現職:ファッションディレクター</small>	60時間	1	必修	1年 前期後期／50分×60回

講義目的
ファッションスペシャリストとして必要な専門的な知識や技法を理解し身に付け、ファッション流通分野における市場調査など、消費者行動ファッションマップを作成する。

講義方法
テキストを中心とする講義と、ファッションマップを作成する実習授業。

試験方法・成績評価方法
課題提出及び出欠状況も含め評価する。

授業内容		
回	主題	内容
1～2	ファッションマーケティングの概要	
3～4	消費者行動とファッション生活	・消費者行動とファッション生活マップ作成
5～6		・ライフステージ、ライフスペース
7～8		・オケージョン、シーズンサイクル
9～10		・ワードローププラン
11～12		・ファッションタイプ&フィーリング
13～14		・マインドエイジ、テイストレベル
15～16		・トレンドサイクル
17～18		・ショッピング & マーケット
19～20	プレゼンテーション	
※1回の授業を3時間とする。		

テキスト
ファッション・マーケティング(ファッション教育社)

参考書・その他
ファッション雑誌

科目名	ファッション販売	講義
------------	-----------------	-----------

担当教員名	時間数	単位数	必修・選択	開講年次／回数
安田 幸 前職：縫製販売指導員	30時間	2	必修	1年 前期後期／50分×30回

講義目的
<ul style="list-style-type: none"> ・ファッション販売における販売員としての役割、基本的知識や技術を習得する。 ・ファッション販売能力検定受験対策も含む。

講義方法
テキストを中心とする講義

試験方法・成績評価方法
課題提出及び出欠状況も含め評価する。

授業内容		
回	主題	内容
1～3	ファッション販売基礎知識	・ファッション販売基礎知識
4～6		・ファッション小売業の構造と特性、小売店の仕組み
7～9		・ファッションコーディネートに関する知識
10～12	ファッション販売業務	・ファッション販売業務、販売スタッフの仕事
13～15		・ファッション販売技術、顧客とのコミュニケーション
16～18	ファッション販売技術	・接客の基本動作とセールステクニック基礎
19～21	店舗演出	
22～24	ファッション商品知識	
25～30	ファッション販売能力検定2級 過去問題模擬試験	

テキスト
ファッション販売Ⅰ・Ⅱ

参考書・その他
ファッション雑誌

科目名	ファッションビジネス論	講義
------------	--------------------	-----------

担当教員名	時間数	単位数	必修・選択	開講年次／回数
安田 幸 前職：縫製販売指導員	120時間	2	必修	1年 前期後期／50分×60回

講義目的
<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションビジネス流通業界の基本的仕組みから役割などを理解する。 ・ファッションビジネス能力検定3級受験対策

講義方法
テキストを中心に講義形式で進める。又、検定受験対策として問題集や過去問などをする。

試験方法・成績評価方法
課題提出、問題集、過去問の点数を中心に、出席状況も含め評価する。

授業内容					
回数			2年次		
回	主題	内容	回	主題	内容
1～3	ファッションビジネスの概要とは	・ファッションビジネスの定義と特性	1～3	ファッションビジネスの特性	・ファッションビジネスの事業特性
4～6	ファッション消費と消費者行動	・消費者行動とファッション表現	4～6	ファッション生活ファッション消費	・ファッション消費行動を形成する要素
7～9	アパレル産業と小売産業 ファッションマーケティング	・アパレル産業の概要 ・ファッション小売産業の概要 ・マーケティング基礎知識	7～9	ファッション産業構造	・グローバルなアパレル産業 ・繊維産業の知識 ・その他
10～12	ファッションマーチャндаイジング ファッション流通	・マーチャндаイジング 基礎知識	10～12	ショップのマーケティング戦略	
13～15	ビジネス基礎知識	・会社に関する基礎知識	13～15	アパレル産業と物流	・アパレル生産管理、品質管理 ・その他
16～18	デザインの定義と特性	・衣服の流れ	16～18	販売管理とプロモーション	
19～21	ファッションコーディネーション	・コーディネーション基礎知識	19～21	キャリアプラン ビジネス基礎知識	・ファッション業界の職業別業務内容 ・マネジメント基礎知識、IT基礎知識
22～24	ファッション商品知識	・アパレル商品知識	22～24	ファッション造形知識	
25～30	ファッションビジネス能力検定3級 過去問題模擬試験		25～30	ファッションビジネス能力検定2級 過去問題模擬試験	

※1回の授業を2時間とする。

テキスト
ファッションビジネス流通編基礎(文化服装学院)

参考書・その他
<p><1年次></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファッションビジネス能力検定3級ガイドブック(日本ファッション教育振興会) ・ファッションビジネス能力検定3級問題集(日本ファッション教育振興会) <p><2年次></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファッションビジネス能力検定2級ガイドブック(日本ファッション教育振興会) ・ファッションビジネス能力検定2級問題集(日本ファッション教育振興会)

科目名	ファッションデザイン画	実習
------------	--------------------	-----------

担当教員名	時間数	単位数	必修・選択	開講年次／回数
木村 節子	60時間	1	必修	1年 前期後期／50分×60回
前職: 県公認洋裁学校教員				

講義目的
・ファッションプロポーションと素材表現テクニックを習得し、デザイン提案したデザイン画を様々な画材を用いて描ける。

講義方法
教科書を中心に講義、実技演習で進める。

試験方法・成績評価方法
実技課題の提出を中心に出席状況も含め評価する。

授業内容	
回	内容
1～3	人体のプロポーション
4～6	正面、側、背面のプロポーションの描き方
7～12	顔、髪、手、腕、脚の描き方
13～18	全身ポーズと着装
19～24	着色の仕方
25～30	ファッションデザイン画コンクール出品作品制作
※1回の授業を2時間とする。	

テキスト
服飾関連専門講座④ ファッションデザイン画(文化服装学院)

参考書・その他
服飾専門誌、服飾雑誌

科目名	ファッション色彩	演習
------------	-----------------	-----------

担当教員名	時間数	単位数	必修・選択	開講年次／回数
金場 弘枝	120時間	4	必修	1年 前期後期／50分×60回
現職：AFT色彩カラーリスト				2年 前期後期／50分×60回

講義目的
<ul style="list-style-type: none"> ・ファッション色彩の基礎知識から配色、カラーコーディネイトの方法を理解する。 ・ファッション色彩検定3級受験対策

講義方法
テキストを中心に講義形式で進める。又、検定受験対策として問題集や過去問などをする。

試験方法・成績評価方法
課題提出、問題集、過去問の点数を中心に、出席状況も含め評価する。

授業内容					
回数			2年次		
回	主題	内容	回	主題	回数
1～3	色彩のはたらき	・ファッションにおける色彩の役割	1～3	産業における色彩	・ファッション産業と色彩
4～6	色彩の体系	・色の三属性 ・ヒュー&トーン	4～6	色彩理論(光、視覚、心理)	・光と色 ・色覚の仕組み
7～9	色彩理論	・色彩と心理	7～9		
10～12			10～12	色名とカラーシステム	・色名とカラーシステム
13～15	色彩の技術	・配色の基礎 ・色彩構成の基礎	13～15	配色と色彩調和	・流行配色 ・ファッションイメージとカラーコーディネーション
16～18			16～18		
19～21	ファッション産業と色彩	・ファッション産業における色彩の役割	19～21	ファッション産業における色彩計画	・商品企画における色彩計画 ・パーソナルコーディネーションと色彩
22～24	カラーコーディネーション		22～24		
25～30	ファッション色彩能力検定3級 過去問題模擬試験		25～30	ファッション色彩能力検定2級 過去問題模擬試験	

テキスト
<p><1年次> ファッション色彩Ⅰ（日本ファッション教育振興協会） ファッション色彩3級問題集（日本ファッション教育振興協会） ファッション&ビューティーの色彩（日本色研事業株式会社）</p> <p><2年次> ファッション色彩Ⅱ（日本ファッション教育振興協会） ファッション色彩2級問題集（日本ファッション教育振興協会）</p>

参考書・その他

科目名	ファッション情報分析	演習
------------	-------------------	-----------

担当教員名	時間数	単位数	必修・選択	開講年次／回数
富山 定子	30時間	1	必修	2年 前期後期／50分×30回

講義目的
ファッション業界の各分野において幅広い知識・技術を習得すると共に情報キャッチと分析能力を養い、商品企画マップを作成する。

講義方法
テキストを中心とする講義と、ファッション企画マップを作成する実習授業。

試験方法・成績評価方法
課題提出及び出欠状況も含め評価する。

授業内容			
回	主題	内容	
1	商品企画	・商品企画の基本ステップ	
2～3		・トレンド分析	
4		・ターゲット企画	
5～6		・情報企画	
7～8		・コンセプト企画	
9～10		・コーディネート企画	
11～12		・アイテム企画	
13～14		・プロモーション企画	
15		プレゼンテーション	

※1回の授業を2時間とする。

テキスト
ファッション・マーケティング(ファッション教育社)

参考書・その他

科目名	スタイリスト実践	演習
------------	-----------------	-----------

担当教員名	時間数	単位数	必修・選択	開講年次／回数
福森 睦美	60時間	2	必修	1年 前期後期／50分×30回
現職:スタイリスト				2年 前期後期／50分×30回

講義目的
スタイリストの仕事の役割を理解し、即戦力となる実務。知識・技術を取得する。

講義方法
テキストを中心とする講義と、実践実習授業。

試験方法・成績評価方法
実技課題の提出を中心に出席状況も含め評価する。

授業内容		
回	主題	内容
1～3	ディスプレイ・VP・VMD概論	・ディスプレイ・VP・VMD概論
4～6		・照明
7～9		・什器、器具、マネキン、ボディ、プロップス、オブジェ
10～12		・VMDマップ演習
13～15		・ビジュアルプレゼンテーションテクニックの基礎
16～18	ショーイング	・ショーイングテクニックの基礎
19～21		・ショーイング演習①
22～24		・ショーイング演習②
25～27	ピンワーク	・ピンワーク基礎テクニック演習①
28～30		・ピンワーク基礎テクニック演習②

テキスト
流通⑧ディスプレイ・VP・VMD

参考書・その他

科目名	デザイン実習	演習
------------	---------------	-----------

担当教員名	時間数	単位数	必修・選択	開講年次／回数
木村 節子	120時間	4	必修	1年 前期後期／50分×60回
前職：県公認洋裁学校教員				2年 前期後期／50分×60回

講義目的
服飾デザインの基礎知識である色彩、形態、構成などの演習を通して美的選択眼と構成力を習得し、ファッションデザインに活用する。

講義方法
教科書を中心に講義、実技演習で進める。

試験方法・成績評価方法
実技課題の提出を中心に出席状況も含め評価する。

授業内容					
回数			2年次		
回	主題	内容	回	主題	内容
1～3	服飾デザイン概論	<ul style="list-style-type: none"> ・近代デザインの歩み ・服飾デザインの歩み ・デザインの定義 	1～3	服飾デザインの展開	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎デザインからデザインへ ・造形的デザインの展開 ・デザインとイメージ ・デザインソースからの発想
4～7	服飾デザインの基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインの基礎 ・形態 ・色彩 ・素材感 	4～7	ファッション産業と服飾デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッション産業におけるデザインの役割 ・アパレル商品企画におけるデザインの位置づけ ・その他
8～12	色彩について		8～12	ファッションイメージ別デザイン	
12～16	デザイン発想		12～16	デザイン発想	
17～20	ファッションショー作品デザイン		17～20	ファッションショー作品デザイン	
21～30	修了制作デザイン		21～30	卒業制作デザイン	

※1回の授業を2時間とする。

テキスト
服飾関連専門講座⑨ 服飾デザイン(文化服装学院)

参考書・その他
<p><1年次> ビデオ(サマリー) 服飾専門誌、服飾雑誌</p> <p><2年次> ビデオ(デザイナーの仕事・発想) 服飾専門誌、服飾雑誌</p>

科目名	立体裁断	演習
------------	-------------	-----------

担当教員名	時間数	単位数	必修・選択	開講年次／回数
富山 定子	60時間	2	必修	2年 前期後期／50分×60回

講義目的
作図方法のひとつである立体裁断を演習することで衣服のバランス感覚を習得する。

講義方法
ボディーとシーチングを使用して、演習を行なう。

試験方法・成績評価方法
課題提出、出席状況も含め評価する。

授業内容		
回	主題	内容
1～3	立体裁断について	<ul style="list-style-type: none"> ・立体裁断とは ・衣服と造形美 ・衣服と人体
4～6	立体裁断の準備	・ガイドラインの入れ方
7～9		<ul style="list-style-type: none"> ・ボディの準備 ・シーチング裁断、準備、地の目を通す
10～12		・身頃原型ドレーピング、ピンの打ち方
13～15		・マーキング、ドラフティング、完成
16～18	立体裁断の基礎	・ダーツのバリエーション
19～21		
22～24		・タイトスカートドレーピング
25～27		
28～30		・ドラフティング、完成
※1回の授業を2時間とする。		

テキスト
アパレル生産講座③ 立体裁断（文化服装学院）

参考書・その他

科目名	フォーマル	講義
------------	--------------	-----------

担当教員名	時間数	単位数	必修・選択	開講年次／回数
楠 美沙子 前職:フォーマルスペシャリスト	30時間	2	必修	1年 前期後期／50分×30回

講義目的
<ul style="list-style-type: none"> ・冠婚葬祭のルールには基本がありますが、多様な時代変化に対応できるように習得する。 ・フォーマルスペシャリスト準2級検定受験対策

講義方法
テキストを中心に講義形式で進める。又、検定受験対策として問題集や過去問などをする。

試験方法・成績評価方法
課題提出、問題集、過去問の点数を中心に、出席状況も含め評価する。

授業内容		
回	主題	内容
1～3	フォーマルの定義、オケージョン、歴史	
4～6	フォーマルシーン分類	
7～9	昼のフォーマルシーン	<ul style="list-style-type: none"> ・正礼装 ・準礼装 ・略礼装
10～12	夜のフォーマルシーン	
13～15	ブライダルフォーマルシーン	<ul style="list-style-type: none"> ・正礼装 ・お色直し
16～18		<ul style="list-style-type: none"> ・準礼装 ・お色直し
19～21		<ul style="list-style-type: none"> ・略礼装 ・お色直し
22～24	喪のフォーマルシーン	<ul style="list-style-type: none"> ・正礼装 ・準礼装 ・略礼装
25～30	フォーマルスペシャリスト準2級 過去問題模擬試験	

テキスト
フォーマルウエア・ルールブック

参考書・その他

科目名	ファッションショー実習	実習
------------	--------------------	-----------

担当教員名	時間数	単位数	必修・選択	開講年次／回数
富山 定子	60時間	1	必修	1年 前期後期／50分×60回
				2年 前期後期／50分×60回

講義目的
ファッションショー出品作品及び、修了作品制作を行う。

講義方法
実物制作を中心に実習を行う。

試験方法・成績評価方法
課題提出の点数を中心に、出席状況も含め評価する。

授業内容		
回	主題	内容
1～15	ファッションショー作品	<ul style="list-style-type: none"> ・作図 ・裁断 ・仮縫い ・補正 ・縫製仕上げ
16～30	修了制作作品	
※1回の授業を2時間とする。		

テキスト

参考書・その他
ファッション雑誌

科目名	ビジネスコミュニケーション	講義
------------	----------------------	-----------

担当教員名	時間数	単位数	必修・選択	開講年次／回数
境井 智子 現職：企業マナー講師	30時間	2	必修	2年 前期後期／50分×30回

講義目的
社会人としての一般常識及び就職活動に役立つノウハウを目的とする。

講義方法
テキストを中心に講義又は演習形式で進める。

試験方法・成績評価方法
課題提出、出席状況も含め評価する。

授業内容	
回	内容
1～3	就職活動について
4～6	企業人が求める人材とは
7～9	就職活動の基本マナー
10～12	敬語の使い方
13～15	電話対応
16～18	手紙の書き方
19～23	履歴書の描き方
24～25	面接マナー
26～30	模擬面接

テキスト
ビジネスコミュニケーションテキスト

参考書・その他

科目名	コンピューターワーク	演習
------------	-------------------	-----------

担当教員名	時間数	単位数	必修・選択	開講年次／回数
眼目 早苗	30時間	1	必修	1年 前期／50分×30回

講義目的
ファッションデザインの表現ツールとしてワード・エクセル・フォトショップ・パワーポイントの技術を習得する。

講義方法
テキストを中心に講義・演習形式で進める。

試験方法・成績評価方法
課題提出、出席状況も含め評価する。

授業内容	
回	内容
1～3	ワード・エクセル
4～6	画像取り込み方
7～10	コンセプトボード作成
11～15	パワーポイント演習
16～30	卒業修了制作プレゼン発表パワーポイント作成

テキスト
フォトショップ&イラストレーター活用術

参考書・その他